

# 銅・アルミ

## 市況見通し

### 11月

#### 銅

9月の伸銅品生産(速報値)は、前年同月比で13・3%減の5万3890トで、21カ月連続のマイナス。14品目中12品目が前年同月実績を下回った。前月だった。

9月の伸銅品生産(速報値)は、前年同月比で13・3%減の5万3890トで、21カ月連続のマイナス。14品目中12品目が前年同月実績を下回った。前月だった。

#### 銅スクラップ景況予想

9月の銅電線出荷量は同6・1%減の5万3千トで、うち国内が同3・2%減、輸出が同61・4%減だった。銅輸出は、電気銅が同12・6%減の5万8232ト、銅スクラップが同32・7%増の3万3936ト。

10月の電気銅建値は月初の128万円から一時122万円まで下落、下旬には125万円。

需要面は自動車の生産販売の回復から一定の需要は見込めるが、民生用途は中国を中心に需要の回復が遅れている。一方、中国への輸出は増えており国内需給は引き締まっている。

中国の景気対策で消費は増加幅が拡大しているが、一部に弱さが見られる。物価は前年比横ばいで推移している。10月24日の全国人民代表大会常務委員会第6回会議で1兆元の国債増発が承認された。これらのことから一方的な景気後退はないと見ている。

二次合金・同合金地金缶が同16・1%減の5998ト。輸入はアルミ新地金が同26・7%減の7万6878ト、アルミ二次合金が1%増の8万6655ト、アルミスクラップが同12・3%減の612ト、アルミ合金スクラップが同5・8%増の5306トだった。

#### LME銅・為替予想

今月は「米・FRB(連邦準備制度理事会)の金融政策」「中国の景気対策」に左右される。

9月のアルミ圧延品生産量(板類・押出類合計)は同6・0%減の14万903トで18カ月連続のマイナスだった。

#### アルミ

9月のアルミ圧延品生産量(板類・押出類合計)は同6・0%減の14万903トで18カ月連続のマイナスだった。

9月のアルミ圧延品生産量(板類・押出類合計)は同6・0%減の14万903トで18カ月連続のマイナスだった。

#### アルミスクラップ景況予想

LME価格は前月に引き続き2252〜2286とレンジ内で推移した。流通(二次問屋)の在庫は、中国筋の高値買いにより少ない状況。需要面は、日本の自動車の生産販売が堅調なこと、円安で輸入物が高くなっていることから、需要が出てきた。LME価格の上昇による、中国筋の高値買いも見られる。

## 橋本アルミ取締役

### 橋本 健一郎氏レポート



銅輸入は、電気銅が同82・5%増の469ト、銅スクラップが同

#### 11月銅市況予想レンジ

LME銅セツルメント 7900~8300<sup>F</sup> 横ばい

電気銅建値 117~129万円 横ばい

為替(1<sup>F</sup>) 145~150円 レンジ内  
(1カ月間TTM)

円を付けるなど下落傾向だった。流通(二次問屋)における10月の在庫は、伸銅品の生産減などにより品薄となった。

需要面は自動車の生産販売の回復から一定の需要は見込めるが、民生用途は中国を中心に需要の回復が遅れている。一方、中国への輸出は増えており国内需給は引き締まっている。

11月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ現物後場買い 2200~2400<sup>F</sup> (現物後場買い) 強い

スクラップ プラス5~10円 (前月最終価格より) 強い